



# 第34回かみじま ふるさと夜市

8月3日(土)、弓削港  
ひだまり公園周辺におい  
て、「第34回かみじま  
ふるさと夜市」が開催され  
ました。会場にはステ  
ージイベントの他、39の夜  
店等が並び、大勢の来  
場者でにぎわいました。  
フィナーレを飾るのは約  
1300発の花火。訪れ  
た人たちは、夜空を彩る  
大輪に見入っていました。



島本陣岩城太鼓



ワクワクキッズ



スタジオシップ



子どもに大人気のゆるキャラ



岩城洋楽部



弓削高校音楽部&大人ブラバン部



ステージイベントを堪能



演歌歌手 西山ひとみさん



ものまねタレント 春風みずほさん

## 町長の独白



## フェイクニュースの読み方

現代社会では、某国の大統領を筆頭に世界中にフェイクニュースが溢れかえっています。情報洪水の中でその真偽を見極めることはとても重要なのですが、なかなか簡単にできることはありません。

それでも、ここにきていろいろな提案がなされるようになりました。そんな見分け方のポイントをいくつか挙げてみます。

まず、100%の情報はないということです。どんな情報にもいくらかの誤りが含まれているということです。言葉の選び方、表現の仕方、微妙なニュアンス、等々、また、それを受け取る側の解釈能力もまちまちです。言葉というものは本来そういう性格のものなのです。

次に、氏素性を明らかにしない匿名での言説は信ずるに値しません。発言内容に責任を持たないということですから。この国の特徴として、問題が発生した時にきちんと議論を尽くさないこと、発言に責任を持たないという傾向があります。どこの誰が言ったか判らない、そんな言説を信用せよという方が無理なのです。

次に有名人の言説と称したり、間違った(偏った)

データを駆使してまことしやかに堂々と展開するのも要注意です。手元に自分で出所などを確認したデータが無い場合や、経緯や流れがわからない言説は鵜呑みにしてはなりません。一方的に決めつける論法には取り敢えず疑ってかかる方が無難です。少しでも疑問を感じたらそれと正反対の主張を調べ比較すると、どこがどう違うのかが見えてきます。

最終的な判断を下すのは自分ですから、判断基準となる基礎知識の積み重ねが大切になります。こうした判断力を養うためにはTVやネット、SNSだけでなく、新聞雑誌等々の文字媒体が考えを深める意味からも大切です。多種多様な情報源から俯瞰すると各メディアがいかに偏った報道をしているかが見えてきます。また、自分の目で見て実際に体験していても異なる角度から見ると捉え方も違ってきます。

世の中には全く同じ考え方などないという基本さえしっかり押さえておけば大丈夫です。自分の考えも日々進化(?)していきます。

どうかフェイクニュースに溺れないよう気を付けてください。

上島町長 宮脇 馨

## CONTENTS

広報かみじま  
2019年9月号 第180号



今月の表紙

8月3日(土)かみじまふるさと夜市

- 2 町長の独白 / 目次
- 3 かみじまふるさと夜市
- 4 健康だより
- 6 役場各課紹介 / 島おこし協力隊活動報告
- 7 LETTERS FROM SCHOOL
- 8 ALTコーナー / 観光協会だより
- 9 上島の文芸 / KAMIJIMA KITCHEN
- 10 しまなみ農業だより
- 11 防災だより / 消防だより
- 12 お知らせ
- 18 島々の話題
- 22 戸籍だより / 1歳の誕生日おめでとう
- 23 行事カレンダー / 潮汐表 / 潮湯だより
- 24 KAMIJIMA SNAP